

「第2次宇都宮市自転車のみち推進計画」の 令和7年度実績と今後の方針について

◎ 趣 旨

「第2次宇都宮市自転車のみち推進計画」の施策事業の進捗ならびに評価指標の達成状況についてとりまとめたことから、その内容と今後の方針について協議するもの

令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

基盤づくり

自転車ネットワーク整備プロジェクト

生活利用自転車ネットワーク路線の
自転車通行空間整備

自転車専用通行帯や矢羽根型路面標示などを計12.3km整備し、安全性
の高い自転車通行環境を創出した。

▶ 自転車専用通行帯



▶ 矢羽根型路面標示



【自転車通行空間の整備状況】

整備手法	市道	県道※	国道※	合計
矢羽根型路面標示	43.2km	32.5km	1.1km	77.0km
自転車専用通行帯	30.6km	11.9km	0.0km	42.5km

※県道、国道は令和7年3月末の実績

サイクリングロード・
サイクリングルート路線の整備

・河川管理者と連携しながら計画的に整備を進めている。
・R8年度に田川サイクリングロードの整備が完了する予定

▶ 車止めと案内標識



▶ 舗装整備と路面標示

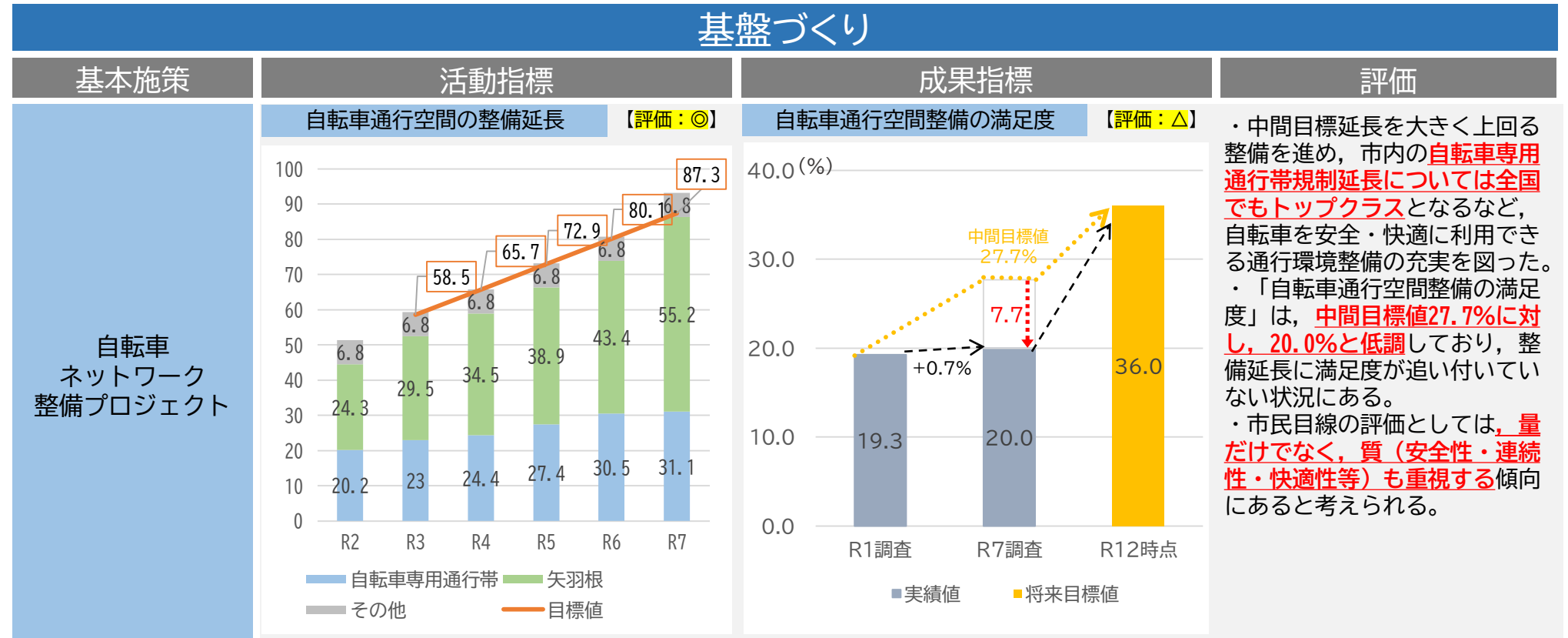


【市内サイクリングロードの整備状況】

河川名	整備済延長
鬼怒川	15.0km (県道12km + 市道3km)
田川	21.9km (うち一般道活用区間5.8km)
山田川	11.2km

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下



今後の方針（後期計画（案）の方向性）

・ 交通結節点（鉄道駅やバス停留所付近）や学校に到達するための**主要導線における通行環境整備の充実を図る**ほか、自転車道などの歩行者・自転車・自動車それぞれの通行空間が分離された**質の高い通行空間の整備**について、交通量などの道路状況を踏まえながら、道路改良など様々な機会を捉えて推進していく。

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

基盤づくり

公共交通連携プロジェクト

ライトライン沿線TC、
停留場付近への駐輪場整備

- ・利用率の高い「ゆいの杜西駐輪場」への増設整備を実施した。
- ・新たに陽東3丁目停留場付近に駐輪場を整備した。

ゆいの杜西駐輪場



陽東3丁目駐輪場



主要なバス停付近への
駐輪場整備

人口が集積する幹線バス路線沿線の図書館2か所(中央図書館, 東図書館)にサイクル
アンドバスライド駐輪場を整備した。

中央図書館



東図書館



【バス停付近駐輪場の整備状況】

整備主体	箇所数
市	20か所(288台)
県	16か所(236台)
バス事業者	6か所(165台)
合計	42か所(689台)

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

基盤づくり

公共交通連携プロジェクト

- 駐輪場やシェアサイクルへのICカード導入
- ・市営有料駐輪場9か所においてキャッシュレス決済を適正に運用した。
- レンタサイクルの適切な管理運営及びシェアサイクル化の検討・実施
- ・郊外部3か所において、レンタサイクル事業を実施しており、利用実績は8,130人／年であった。
・中心市街地を基本にシェアリングモビリティの導入拡大を図った。

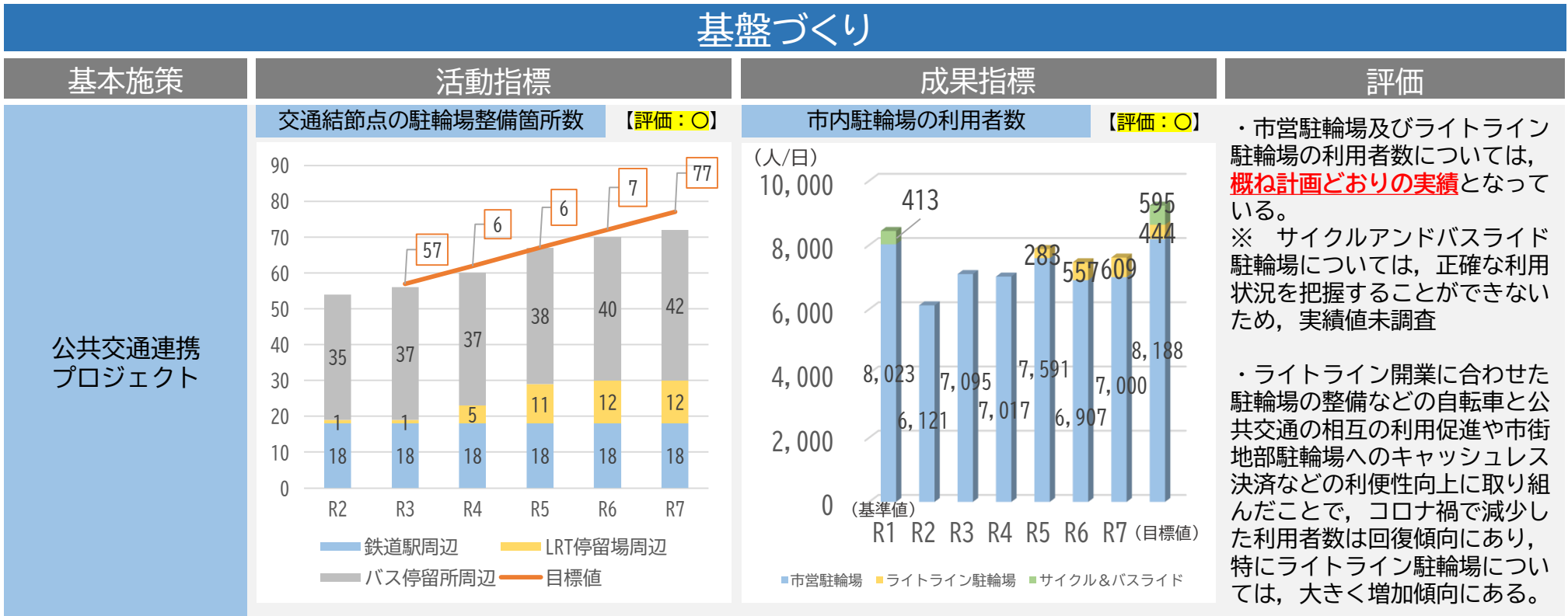
【シェアリングモビリティの導入状況】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
電動アシスト自転車	50台	100台	307台	397台
電動キックボード	30台	60台	70台	54台
合計	80台	160台	377台	451台
ポート数	9か所	37か所	132か所	187箇所



○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下



今後の方針（後期計画（案）の方向性）

- ・市営駐輪場については、指定管理者と連携しながら、駐輪場のDXをより一層推進するため、**デジタル技術を活用した市民サービスの向上**に取り組む。
- ・路線バス停留所付近の駐輪場については、引き続き、**主要なバス停留所付近に駐輪場を整備**するほか、ライトライン停留場付近の駐輪場については、**駅東側の駐車場の利便性向上を図る**ほか、駅西側については、**各停留場付近の駐輪機能の確保に向け、利用者ニーズを把握・分析し、整備する場所や規模などを検討**する。

20

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

意識向上

安全・安心プロジェクト

学校や民間企業等と連携した交通安全教室の開催

- ・小・中・高校生を対象に交通ルールや自転車の正しい乗り方などの学んでもらう交通安全教室を108回開催した。
- ・高齢者を対象に警察と連携して自転車シミュレーターを活用した交通安全イベントを11回開催した。

小学生向け交通安全教室



ブリッツエンと連携した交通安全教室



高齢者向け交通安全イベント



交通安全教室でのスケアードストリート方式による事故の再現



【交通安全教室等の開催状況】

開催内容	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
交通安全教室	101回	115回	111回	105回	108回
交通安全イベント	5回	12回	10回	10回	11回

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

◎…計画どおり
○…概ね計画どおり
△…計画以下

意識向上

基本施策	活動指標	成果指標	評価
安全・安心プロジェクト	体験型自転車安全利用教室の開催回数【評価：◎】 	自転車に関連する事故発生件数【評価：○】 	・ 幼児から高齢者まで、あらゆる世代を対象とした交通安全教室を実施するほか、特に自転車利用の多い高校生に対しては、警察と連携しながら、動画などの分かりやすい教育資材を提供するなど、ヘルメット着用の徹底や交通ルールの遵守等について働きかけているものの、近年減少傾向にあった自転車に関連する交通事故件数は、 令和5年以降横ばいが続いている。

今後の方針（後期計画（案）の方向性）

- ・ 交通反則通告制度（青切符）の自転車への適用などを契機とする，自転車の交通ルールやマナーに対する遵守意識の高まりを好機と捉え，引き続き，**プロスポーツや民間企業と連携した交通安全教室を開催**する。
- ・ 自転車に関連する交通事故を未然に防止するためには，自転車の利用者のみならず，自動車運転者や歩行者も含めた，社会全体での交通ルールの遵守が必要であることから，引き続き，**幼児から成人に至るまで心身の発達に応じた段階的かつ体系的な交通安全教室の実施や市公式SNS等を活用した周知啓発**などに取り組む。

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

意識向上

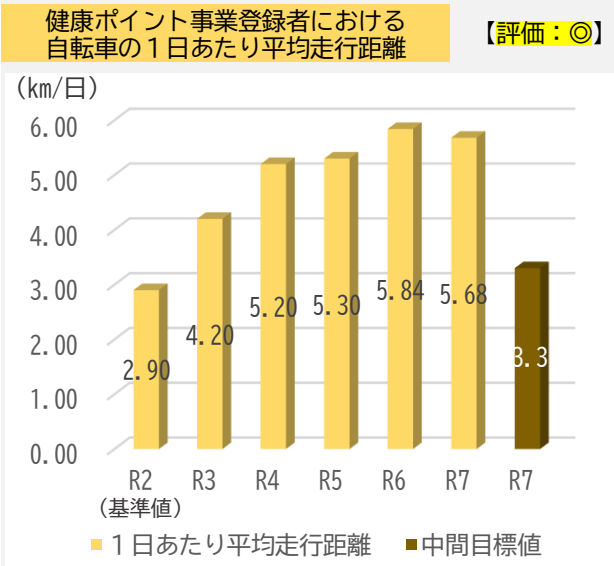
生活利用・健康プロジェクト

健康ポイント事業等を活かした自転車による健康増進の促進

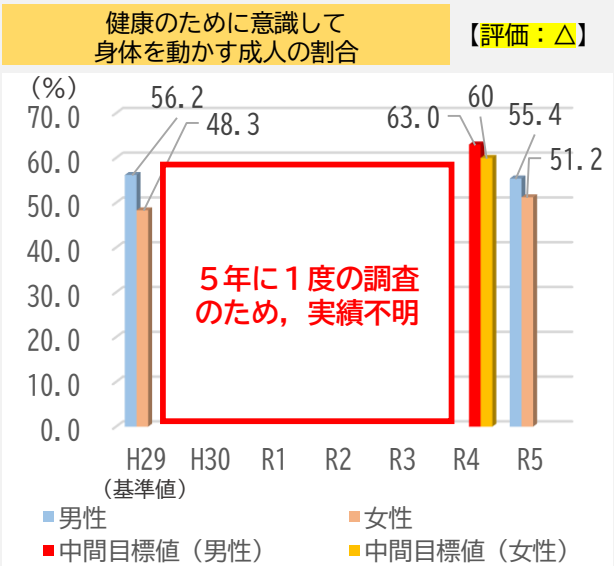
- ・健康ポイントアプリのお知らせ機能において、自転車通勤に関する情報を掲載した。
- ・健康ポイント事業の参加者数は56,461人となった。



活動指標



成果指標



評価

- ・健康ポイント事業登録者に向けて、自転車利用による健康づくりのPRを実施したことで、登録者における自転車の1日あたりの平均走行距離は**中間目標値を大幅に上回った。**
- 今後の方針（後期計画（案）の方向性）
- ・健康づくりに無関心な市民の参加促進に向けて、**PR動画の放映や配信機会の拡大などにより、広報の充実を図る。**また、さらなる協賛企業の獲得を図るなど、魅力ある事業になるよう努める。
 - ・日常生活における移動手段としての自転車利用を促進し、市民の健康意識の向上や環境負荷の低減を図るため、**企業等と連携し自転車通勤を促進**する。

○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

機会づくり

サイクルスポーツ・ツーリズム推進プロジェクト

ジャパンカップサイクルロードレース等の開催

ジャパンカップを活用したサイクルスポーツの振興

「自転車のまち宇都宮」のブランド力向上に向け、“宇都宮”ジャパンカップサイクルロードレースを開催した。

- ・UCI公認レース「宇都宮シクロクロス」を開催した。
- ・市民が身近にサイクルスポーツを親しめる機会を提供するため、宇都宮ジャパンカップのコースを一部活用した体験イベント「宇都宮ジャパンカップアフターライド」を開催した。

▶ 宇都宮ジャパンカップの開催



クリテリウム



ロードレース

▼ 宇都宮シクロクロスの開催



▶ 宇都宮ジャパンカップアフターライド



▶ フルーツライド

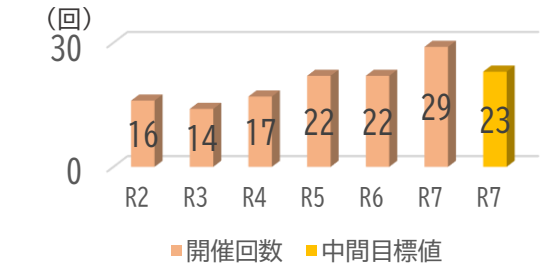


○ 令和7年度の進捗状況と今後の方針について

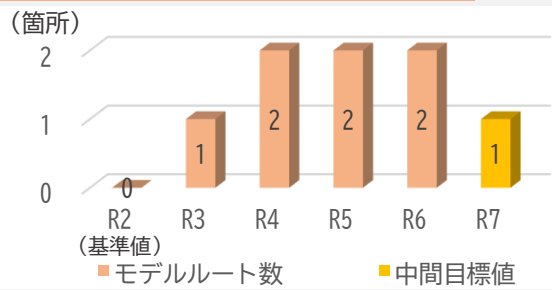
令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

活動指標

自転車競技・サイクルイベントの開催数 【評価：◎】

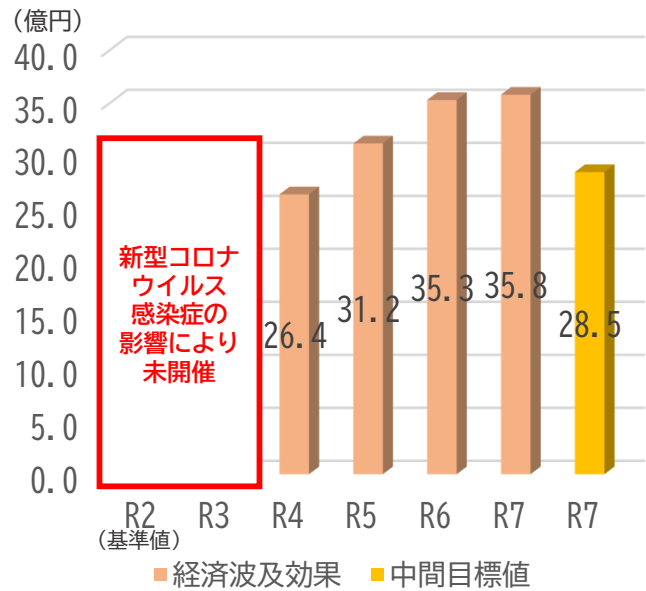


広域モデルルートの設定数 【評価：◎】



成果指標

自転車競技・サイクルイベントによる経済波及効果（ジャパンカップ） 【評価：◎】



評価

・広域モデルルートについては、中間目標を上回り、“おにハチ”と“ルート25”の2ルートを設定した。

・宇都宮ジャパンカップ及びシクロクロスの開催、ならびにジャパンカップに付随するサイクルイベントの実施により、令和7年度においては、過去最高の経済波及効果となるなど計画以上の成果となった。

今後の方針（後期計画（案）の方向性）

- ・宇都宮ジャパンカップについて、引き続き世界トップレベルのチーム及び有名選手によるハイレベルなレースを実施するほか、ファン層拡大に向けた情報発信やイベント等を実施する。
- ・宇都宮ジャパンカップに付随するイベントや「アークタウン宇都宮」や「北西部地域体育施設」におけるBMX関連施設を活用したイベント、民間企業などと連携した自転車の楽しさを伝える体験型のサイクルイベントなどを実施することで、市民や来街者に対し、自転車を楽しむ様々な機会を提供する。

令和7年度の進捗状況と今後の方針について

令和8年3月末実績
※その他事業は別紙参照

機会づくり

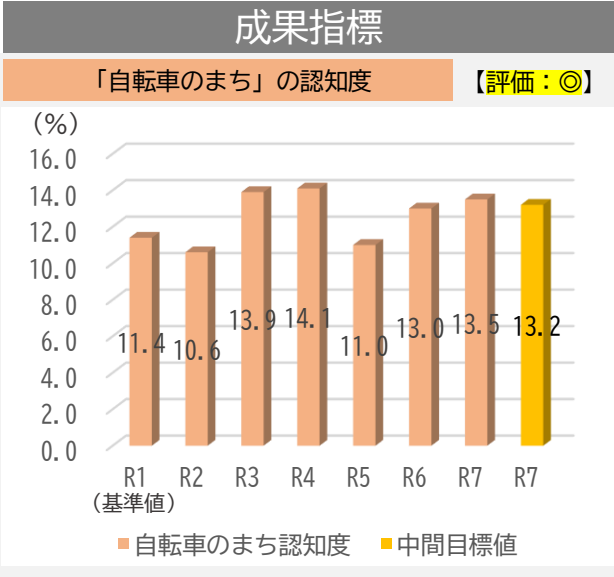
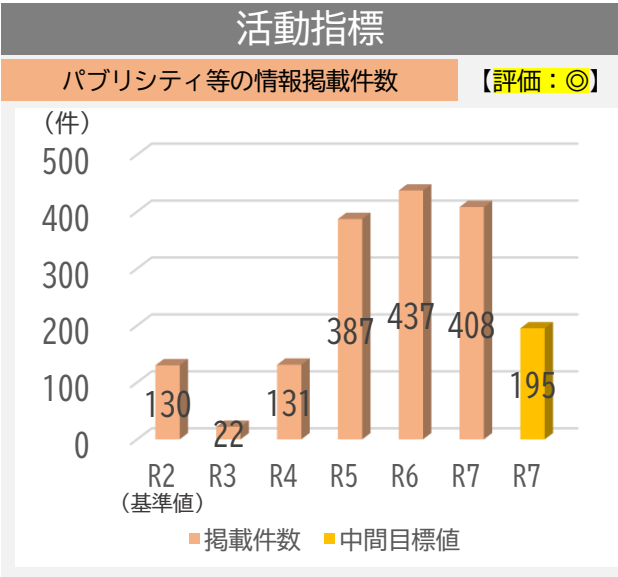
自転車のまちPRプロジェクト

プロスポーツチームや多様なメディアを活用した情報発信
宇都宮ジャパンカップなど「自転車のまち宇都宮」を代表するイベント等に合わせて、TVやラジオ、SNSなど多様なメディアを活用した情報発信を行った。

動画投稿
▶Youtubeアカウントへの



大会フォトグラフィアと連携したSNSを活用した情報発信



評価

・プロスポーツや多様なメディアを活用した情報発信や宮サイクルステーションの情報発信機能の強化、自転車マップの配布などにより、「自転車のまち宇都宮」のPRを行った結果、**「自転車のまち」の認知度**に関しては、安定した推移ではないものの、**目標を達成**できている。

今後の方針（後期計画（案）の方向性）

・多様なメディアを活用した情報発信や民間企業などと連携した市民への周知啓発を推進することで、**宇都宮ブランドである「自転車のまち宇都宮」の市内外への認知度向上と市民のシビックプライドの醸成を図る。**

○ 今後のスケジュール



宇都宮市自転車のまち 推進協議会

- 第1回 協議会(R7.7.2)
・各施策の進捗状況, 評価指標の状況の確認等
・中間見直しの方向性
- 第2回 協議会(R7.11.26)
・骨子(案)について
(将来像, 目標, 施策体系, NW計画中間見直しの方向性)
- 第3回 協議会(R8.3.30)
・素案について
(目標指標, 重点事業, 施策事業, NW計画)
- 第4回 協議会(R8.6.8)
・後期計画の確認

庁内会議

- R8.6.2
推進委員会
- R8.6.30
庁議

・上位計画の国の「自転車活用推進計画」と一部整合している指標があるため
・現在策定中の第12次交通安全計画と連動する指標があるため